露地アスパラガスだより

第３号

令和５年７月４日
さがえ西村山アスパラガス部会
ＪＡさがえ西村山
西村山農業技術普及課

○山形県も梅雨入りしました。降雨が続くと、茎枯病の発生も多くなりますので、降雨前の防除を徹底しましょう。また、立茎時期となりましたので、本数や太さなど適切な立茎を心がけましょう。
○立茎後は、強風で立てた茎が、折れたり、傷ついたりしないよう、ネット等を設置して、固定しましょう。

１．病害防除

・立茎で残した茎は、夏芽や翌年の春芽の養分を蓄えるために重要なものとなるため、病害防除は立茎始期から行い、秋まで健全に生育するように管理する。
・立茎したての茎は軟らかく、病害が発生しやすいので、**特に降雨前**は、必ず防除する。

２．立茎する時期の目安

◇萌芽してくる若茎の太さ**２Ｌ、Ｌの比率が(ピーク時の)40%以下**に落ち込んだとき。
◇出荷ピーク時よりも**出荷量が７割以下**となったとき。
◇**奇形や曲がり**の若茎が目立ってきたとき。

３．立茎する太さの目安と本数

・**茎径が１２mm程度**のもの
（ボールペンよりやや太いもの）
・曲がり等の奇形茎は残さない
・**１m当たり１０～１２本**
→　茎と茎の間隔はこぶし１つ分程度あける

４．茎の固定方法

・ネットを張って、茎が風にあおられないように、固定する。

固定の様子　→

５．収穫終了後の施肥管理

・春の収穫が終わり立茎時期になったら、有機入り化成肥料（または、緩効性肥料）を、窒素成分で 10a 当たり 20kg 程度圃場全面に施用する。

６．雑草対策

・畝上の雑草は収穫しながら取り除く。通路の雑草は早めに中耕除草しておく。

STOP！農作業事故～農作業時の安全確認を徹底しましょう！！～